

保育の魅力向上に関する意見募集の結果

- 意見募集期間：令和2年1月16日(木)～2月15日(土)
- 集計回答件数：2,613件(※募集期間後に3月末までに提出があった意見も含む)

【意見募集の質問項目】

- Q1. あなたは、保育士という職業のやりがいや魅力を、どのようなところにあると思いますか？(例:子どもの成長を感じられた時等)
- Q2. あなたは、働く場所としての保育所の魅力を、どのようなところにあると思いますか？(例:労働条件(待遇面を含む)や労働環境等)
- Q3. あなたは、保育士という職業や働く場所としての保育所の魅力向上のために、取り組んでいること、取り組みたいと思うことはありますか？
- Q4. 国や自治体に、保育士という職業や働く場所としての保育所の魅力向上のために、取り組んで欲しいことはありますか？
- Q5. その他(職業としての保育士や働く場所としての保育所に関して、その魅力の向上や発信に関し、ご自由に記載してください)

(1)分類項目ごとの意見の件数

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5
子どもとの関わり・成長実感	2,511	647	288	7	27
病児病後児・特別支援など	3	1	3	27	15
保護者との関わり	571	149	219	14	27
自身の成長・学び・誇り・自主性	245	254	269	10	24
地域や他施設保育者との連携・支援	4	41	156	48	25
社会的地位・保護者等の啓蒙・HP等での	2	9	226	340	143
志望者・潜在保育士等への働きかけ	1	10	241	75	31
OJT・研修・仲間学び・記録の共有/見え	10	59	305	66	34
職員・職種の多様性	3	39	18	12	4
労働環境(人間関係・チームワーク)	84	838	591	18	26
労働環境(賃金・昇進昇格)	2	230	69	1,334	220
労働環境(就業時間・休みの取り方)	3	615	150	382	94
労働環境(その他)	1	503	153	356	78
業務負担軽減・業務効率化	0	35	127	227	64
保育所等の給付事務に係る提出書類の効	0	1	3	42	21
自治体監査・園評価のあり方	0	0	3	36	20
保育士等の配置基準	1	7	18	378	69
施設運営・事業主体の規制・助成基準	0	16	13	183	85
その他 法整備・行政対応	0	7	24	299	173
該当なし	41	268	428	239	1,426

(2)分類項目ごとの特徴的な意見やエピソード

Q1: あなたは、保育士という職業のやりがいや魅力を、どのようなところにあると思いますか？(例:子どもの成長を感じられた時等)

	特徴的な意見・エピソード
<p>子どもとの関わり・成長実感</p> <p>2,511件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 無垢な心から発せられる言葉や大人とは違う感性や発想に触れたりする時に、子供と関わる事の面白さや感動を得られる。 ・ 純粋で無邪気で何事にも一生懸命な姿を見ていると自然に笑顔になる ・ 可愛い眩きが恰えた時(自身が病欠した翌日、「おかえり、どこに行ってたの?」と聞いてきた) ・ 何気ない行動に憧れをもって、「先生みたいになりたいから」と子どもから自主的にピアノの習い事を始めたいと聞いた時 ・ 休みの次の日に「保育園に行きたくて泣きました」という話を聞いた時「おいしい!どうやってつくったの?おかわり!」と食に興味を持ってくれた時 ○ 子どもたちの心の動きや感情面などに、成長を感じたとき。 ・ 「保育園大嫌い」と言ったり大泣きだった子が、喜んで登園するようになった時 ・ 子どもたちが自信に満ち溢れた表情で卒園していく姿を見た時や、中高生、社会人になった子ども達が人生の節目で園へ来てくれた時 ○ 自分が工夫して、出来なかった事が出来るようになった時や、子どもと信頼関係、愛着関係を結べたと感じられた時 ・ 昨日できなかったことができるようになる瞬間に立ち会えるところ。初めて歩いた時、言葉を話した時、縄跳びが跳べた時、はさみが使えた時…等ひとつひとつの成長を側で感じることができる ・ 計画した遊びなどを純粋に楽しんでくれた時、思うよう心が通じぬいと通じ合えた時 ○ 愛着形成を通して人格形成の時期に携われる仕事、日本の将来を担う、未来の力を育成しているという責任ある仕事
<p>保護者との関わり</p> <p>571件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの成長する姿を保護者と一緒に喜び合える所、保護者の悩みに寄り添い子どものために一緒に考えていく所 ・ 「園でできるようになった」「先生たちのおかげで出来た」などと言ってもらえると「頑張ってた良かった」と思える。保護者の方の笑顔を見ると安心する ・ 悩み相談をされた保護者が笑顔になって帰られる時 ・ 子どもたちや保護者から手紙をいただいた時や、自分が頑張った事に対して保護者の方から感謝を伝えてもらえた時 ・ 様々な保護者がいるので大変な面もあるが、保護者から感謝されたり、子どもの成長を共に喜び合ったりすることができる ・ 子どもが出来なかった事ができるようになった瞬間や、保護者の方に育児の楽しさを伝えたり、この園に預けて良かったと感じてもらい、笑顔で卒園を迎えられるところ ・ 保護者と連携を取りながら子どもとかわり、そのことで子どもの姿が良い方向に変わった時
<p>自身の成長・学び・喜び・誇り・自主性</p> <p>245件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のやったこと、かけた言葉によって、成長がみられたときにやりがいを感じる ・ 自分が関わったことで子どもが変わる(自信をつける、のびのびとする、得意なことをみつける 等)、子どもと一緒にいれ見られない景色が見られる、毎日が違うことの連続 ・ 自分の得意な部分を活かすことができる 人間の生涯を決定づける乳幼児期の発達に対して、責任ある位置を占める仕事をしていること ・ 自分の提案した企画や環境設定で子どもたちが喜んで楽しんでいる姿 ○ 子どもたちの成長を支えながら、保育士自身も、子どもや保護者との関わりの中で、人間力を豊かに育める ・ 子どもの感性や素直な発想に触れ、自分自身も子どもたちと共に成長できる ・ 子育てに奮闘している保護者と日々関わることで、自分自身も成長させられる ・ 子どもをみる知識が豊かになり、自分自身の欠点もよく分かるようになる ○ 保育士という職業は、専門職だと思える所にやりがいを感じる ○ これからの日本を担う世代を育てるといふ、とても大きな楽しみ、将来の日本を担う人を育てる誇り ・ 保育士は子どもにとって身近な存在であり、家庭の一部の役割を担い、子どもの成長発達に大きな使命感・責任感を持って資格を活かした職種である

Q2 : あなたは、働く場所としての保育所の魅力を、どのようなところにあると思いますか？(例:労働条件(待遇面を含む)や労働環境等)

	特徴的な意見・エピソード
<p>労働環境 (チームワーク・人間関係)</p> <p>838件</p>	<p>○一人で抱え込むことなくチームとして連携を図り仕事ができる</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員同士協力して、子どもたちのためにさまざまな経験の機会を提供できる 幅広い年齢層で構成された職員一同が、それぞれに専門職としての知識や経験を発揮し、連携して保育を進めることができる 保育士だけでなく、栄養士や事務員・看護師・保育補助員も含めて、それぞれの立場でそれぞれの特性を活かしながら協力しあっている 個々それぞれの担当業務を行うが、全体で一人一人の子どもの成長を見守り、育むため、同じ方向を見て共有、共感しながら仕事ができる 複数担任であることから仕事のことを1人で悩むということがあまりない 先輩から学び、後輩に伝えていく、一人では味わえない達成感 <p>○人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 感じたこと思ったことを正直に打ち明けられ、子どもの姿を語り合える雰囲気がある 働く職員に対しても仕事と子育てを両立できる為の理解がある 子どもに寄り添った保育を保育士・職員全体で協力しながらすすめることで、職員同士のつながりが深まり、資質を高めあっている 家庭をもつ身として理解があり、園全体で快くフォローしてくれる 一般企業と比べて「保育」という「優しい心」「汚くない心」「憎しみのない心」などの穏やかな心を持ち働く場所であるため、人間関係の問題の比重は少ないと思う 子育てしながら働く母親の大変さを理解してもらいやすい
<p>労働環境 (就業時間・休みの取り方)</p> <p>615件</p>	<p>○就業時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 定時で勤務が終了するので夜遅くまで働かなくてよい。規則正しい生活なので、生活リズムが自分自身も整う 自分の働きやすい時間帯で仕事ができる。時差勤務のため平日でも予定を組みこめる 急に呼び出されたり急な仕事で予定をキャンセルすることなどはない 事務時間、休憩時間が確保され、残業する事が少なくなった <p>○休みの取り方</p> <ul style="list-style-type: none"> 週休二日制、祝日などカレンダー通りに休みが取れる場合が多い。リフレッシュ休暇があり、まとめてお休みをとることができる 有休、育休が取得しやすい環境。周りの声掛けや気遣いがある事で休みが取りやすく、子育てしながらでも仕事が続けられる 公休以外にも有給休暇や看護又は介護休暇が取れるような職場の雰囲気や環境が整っている。 子どもの急病や行事に対してとても理解があり、有給や早退などが取りやすい年間行事が決まっているため、休みの調節がしやすい 育休明けに短時間勤務や固定勤務等選べる、年休がとりやすいシフト制のため、時間帯やライフスタイルに合わせて働くことができる
<p>労働環境 (賃金・昇進昇格)</p> <p>230件</p>	<ul style="list-style-type: none"> 処遇改善費があり労働条件や待遇面で働きやすい、給料、ボーナスを安定していけたらいいところ、待遇は少しずつ改善されてきている キャリアアップを意識し資質向上を図ることで処遇改善を受けることもできる 経験年数ではなく、専門分野に関する学歴や成績で給与が評価されること 産休、育休、育児時間が保障されているので子育てをする職員にとって最低基準の賃金が保障されているところ

Q2 : あなたは、働く場所としての保育所の魅力を、どのようなところにあると思いますか？(例:労働条件(待遇面を含む)や労働環境等)

	特徴的な意見・エピソード
<p>労働環境 (その他) 503件</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 働く場としても暑さや寒さが無く快適である。また、決まった人の出入りしかないので安心感がある • 清潔な広々とした保育室でスタッフルームもあり、気持ち良く過ごせる。園内は生活しやすく、清潔に保たれている • 行事、季節を感じ、毎日違う活動をしているため、メリハリがある。日常的に季節の移り変わりを感じる事の出来る環境 • 福利厚生面の充実している。宿舍借り上げ制度。条件を満たせば、奨学金の補助が出る • 事務仕事だけでなく体を動かしたり、時には栽培活動やクッキング保育で食育に関わったり、または、安全管理や医療的な知識を習得できる • 各地域にもあるので家庭の都合等で転職する際も次の保育所を見つけやすい
<p>子どもとの関わり・ 成長実感 647件</p>	<p>○子どもとの関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> • 子どもたちの元気な声や笑顔で力(パワー)を貰える場所 • 子どもの笑顔や生き生きした表情が見られる明るい職場である • 子どもたちの楽しい発想、可能性やいろいろな表現があふれているような希望の場所、発見や驚きがあり新鮮 • 様々な年齢の子どもたちと一緒に生活することができる環境であるため、子どもたちからパワーをもらったり、癒されたりと、仕事中に保育士自身の心が満たされる場所 • 子どもの成長と共に自分自身も見つめ直す機会があり、成長できる所 • 子どもにとって重要な乳幼児期に関わることができる嬉しさ <p>○成長実感</p> <ul style="list-style-type: none"> • 日々の子どもの姿の変化、成長は他では得られない感動がある0才～就学前までの子どもを預かる為、長い年月の中での成長が見守る事ができる • 人間として大切な幼児期に関わることができる

Q3: あなたは、保育士という職業や働く場所としての保育所の魅力向上のために、取り組んでいること、取り組みたいと思うことはありますか？

特徴的な意見・エピソード	
<p>労働環境 (人間関係・チームワーク)</p> <p>591件</p>	<p>○コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 休憩時にもコミュニケーションをとる（保育以外の話含む。悩み相談等） 職員の意志を統一することが大事なので、職員会議をしっかりと行い皆さんの意見をしっかりと聞く 「園内研修」をお互いの「対話出来る場」に改革 休みが互いにしやすい環境づくり、コミュニケーション、協調性を大事にしている 一人で悩みを抱えたり判断するのではなく、同僚や上司に相談しチームワークを大切にしている 園長が現場保育士との対話を重ねていく、保育者間の共通認識、意思の疎通 自分が体験してわかる保育の楽しさ、素晴らしさ、学びを適切に言語化することを心掛ける 風通しの良い職場になるように、チームビルディングなどのコミュニケーション強化 <p>○動きやすい職場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 困ったときはお互い様の精神で、急に休まなくてはならなくなった職員が出た時にみんなでカバーしようという雰囲気を作っている。残業、持ち帰りのないように皆で分担して仕事を消化。声をかけ合い、お互いに仕事を頼みやすい雰囲気作り 若い人が意見を言いやすい雰囲気・意見交換が年齢、経験に関係なく出来る雰囲気を作る 正職員も非正規職員も園の一員として、尊重され、意思疎通をし、連携できる職場 本来相応しい者がリーダーシップを執れるよう家族経営の体制を廃止 保護者の背景もみんなで語り合い、職員が当事者意識を持てるようにする 同じ女性であり、母親であるため、それぞれの状況を認め合い、協力し合ってシフトの調整をする 厚生係として、「ラフティング」や「食事会」を企画し、親睦を深め楽しい職場であることを発信していく 職員の長所短所をうまく補い合いチームとして取り組んでいる、何でも言い合える雰囲気づくり 男性にとっても働きやすく、素敵な職場と思ってもらえるように、「男だから」と思わず何にでも取り組むようにしている 職員の協働性や問題解決力を高め合うミーティングなどを通し、お互いに自己評価しながらポジティブな考えで仲間やチームを大事にする
<p>OJT・研修・仲間学び・記録の共有/見える化</p> <p>305件</p>	<p>○OJT・研修・仲間学び</p> <ul style="list-style-type: none"> 未経験の保育士が、現場に入りやすく、また仕事を覚えやすくするために、OJTを当たり前に受けることができるように、現場を変えていきたい 情報交換や研修、意見交換を行いスタッフ一人ひとりの保育観を認め合うことを大切にしています 各種研修会への参加促進、園内研修や会議による情報の周知、意識の確認。 保育士等キャリアアップ研修の受講をはじめ、保育分野で役立つ資格取得や研修を受講し、保育の専門性を高める 保育者の資質・技能向上に資する学習に重点的に注力 資質・技能とICTや5Gなどの技術を結びつけて、よりインタラクティブな関係を子どもや保護者、地域とつないでいく取り組みができれば これからの保育士はより専門性や多様性が求められると思う(中略)これだけには他人に負けないと思える自分の強みを身につけられるよう学び続けたり研修に参加する] <p>○記録の共有・見える化</p> <ul style="list-style-type: none"> ドキュメンテーションなどを利用した子どもの姿の情報発信。また、ポートフォリオなどを活用し、個人の育ちの記録を見える化エピソードなどを通して保育活動を発信し、子どもの成長や保育の楽しさを職員や保護者と共有するようになっている 子どもの興味関心を大事にし「遊びが学び」となるプロジェクト的な保育に取り組んでいます[中略]「保育ドキュメンテーション」にて保護者に伝えたりしています 学生(中学・短大など)の職場体験や保育実習を積極的に受け入れている 子どもの興味関心を大事にし「遊びが学び」となるプロジェクト的な保育に取り組んでいます[中略]「保育ドキュメンテーション」にて保護者に伝えたりしています

特徴的な意見・エピソード

子どもとの関わり・ 成長実感

288件

- 子どもにとって魅力的な場
 - ・ 子どもたちが保育園が楽しい、行きたいと思えるような環境を作るため、保育者がいつも笑顔で子どもたちに寄り添う保育を行う
 - ・ 子どもたちとの関わり方を一番大切に考える
 - ・ 子どもたちの自己肯定感が育つような声掛けや関わりを大切にする
 - ・ 一人一人家庭環境が違う中で子どもの気持ちを一番に理解し、一人でも多くの子どもが安心して笑顔で過ごせるように取り組む
 - ・ 子どもを主体として一人ひとりにあった計画や援助を行っている
 - ・ 保育園の空き部屋、園庭を使用し課外で専門職を呼びピアノ教室・サッカークラブその他が出来る環境作り
 - ・ 子どもたちに無理強いせず、「したい」「やりたい」という気持ちを伸ばしてあげられるよう、丁寧な関わりの中で繰り返しの言葉がけを根気強く行う
- 働くことが楽しい保育の場づくり
 - ・ 子どもが楽しんで生活できる場所を作り、大人も笑顔で過ごすこと、職員同士、大人と子どもと向き合って話す
 - ・ 子ども・保護者とより密に信頼関係を築き、子どもたちに細かく愛情を注ぎ、働くことが楽しいと思えるようにする
 - ・ 子どもたちが保育園が楽しい、行きたいと思えるような環境を作るため、保育者がいつも笑顔で子どもたちに寄り添う保育を行う

志望者・潜在保育士 等への働きかけ

241件

- 志望者・潜在保育士への働きかけや支援
 - ・ 実習生や見学者の受け入れを積極的に行っている
 - ・ 保育所実習やボランティア、職場体験などに来た学生に、保育の楽しさが感じられるように指導をする
 - ・ 卒業した短大や高校などで、保育のリアルな1日をグループなどの近い距離で話せる場があると、将来に不安(保育士になるか迷っている子)があっても保育士の良さや楽しさが伝わる
 - ・ 保育学生が「中略」魅力的な職場で幸せな就職をし、「保育者になってよかった」と思えるよう(早期離職改善につながるよう)、ガイドラインを作成している
 - ・ 資格取得希望者を雇用し、勤務しながら資格取得できるように勤務時間を調整し、研修費用や取得費用を支給しサポート
 - ・ 周囲の方々に保育士資格を持ってある方に一緒に働くことはできるかなど声を掛けてます
 - ・ 実習生の「自分もこんな先生になりたい」と対象となれるように、子どもたちと毎日生き活きと過ごせるよう努める
- 若年層等への魅力発信・働きかけ
 - ・ 中学生のトライアルでは、積極的に子どもに関わるように、遊びの中に入れてもらったり、保育士という仕事の魅力を伝えている就職支援活動や中高生のボランティア活動(保育士体験)を通して、子どもと関わる仕事のやりがいや楽しさ、達成感を伝えていけるような取り組み
 - ・ 若者の地元定着を目的とした「保育所・保育者と連携したバスツアー」や「職場体験ツアー・交流会」などを企画・運営・実施
 - ・ 職業の魅力は若年層への発信が必要。養成校で学生の就職支援を担当し、保育園の採用担当の方々とも多く接している立場から、就職先への現状調査や早期離職解決の提案はできる
 - ・ 実際に働いている保育士がそのやりがいや楽しさ充実している様子を発信し保育士という職業を選んでもらえるようにする
 - ・ 保育士と保護者で発行している記念誌に保育士という仕事の楽しさを毎年載せている

Q4: 国や自治体に、保育士という職業や働く場所としての保育所の魅力向上のために、取り組んで欲しいことはありますか？

	特徴的な意見・エピソード
<p>労働環境 (賃金・昇進昇格)</p> <p>1,334件</p>	<p>○賃金格差の解消等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 保育現場全般(児童指導員・幼稚園教諭含む)が学生があこがれる職業になるよう一般企業との格差を埋めてほしい・ 正規保育士と臨時保育士の給与面や待遇を同等にしてほしい・ 結局正規職員では手が足りず囁話なのに正規職員と同じ仕事をして低賃金、保育は子守りではないです、高い専門知識が必要です、ただ人数が足りればよいという考えでは保育の質は保てません・ 給与・休み・待遇等以前に比べれば改善されていますが、やっとな普通に近づいた印象です・ 金銭面での補助が、都会だけでなく全体こいきたれば・ 給料がまちまちであり格差もあります[中略]国で定めた給料規定、ガイドラインがあるとよい、そのためには保育士能力評価規定もあつたらよい、地方は給料が安い・ 地方と都内の保育士への待遇、各法人ごとの待遇が大きく違うので、公務員のようにある程度標準化してほしい・ 認可保育園に限らず、平等な補助金と人員の確保・サービス残業の改善・給与などの待遇改善・ 潜在保育士はかなりの人数いるのに、保育士が不足しているのは労働条件がまだまだ低いから(給料面等)だと思うので、もう少し見直してほしい <p>○専門職に見合った賃金</p> <ul style="list-style-type: none">・ 専門職なのだからそれに見合った待遇が望まれる。幼稚園教諭と保育士の待遇も同じにしてほしい。・ 処遇改善やインセンティブ等でなく保育士という職種に対する根本的な賃金に対する評価を上げて欲しい、せめて看護師と同水準で移行するようなシステムが必要・ 保育士の専門性や責任の重大さを認めてもらい、それに見合った賃金設定を求める正規保育士と臨時保育士の給与面や待遇を同等にしてほしい・ 人間形成の一番重要である時期に関わる職業という意味での賃金単価の値上げ <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none">・ 処遇改善をしていると国や自治体は言うが、それが現場で働く職員に還元されない事が多い・ 処遇改善は本人に直に渡すシステムにしてほしい(子ども手当などのように)・ 保育の質の向上にインセンティブが働く制度作り・ 処遇改善1、2があるが、事務処理が面倒である。又職員全員の底上げをするには少ない

特徴的な意見・エピソード

○保育時間や労働時間の見直し

- 保育時間の短縮(早朝や夜間の労働が離職を招く)
- 国全体でライフワークバランスを考え、長時間労働を減らす。サービス業や各業種が働く時間を見直してもらえば、保育園も12時間以上開けていなくてもよい
- 仕事が終わった保護者はすぐ迎えにきてもらうよう保育時間の取り決め。土曜保育見直し
- 保育園等の標準保育時間を労働基準の観点の中から8時間とし、今の11時間標準時間については、延長枠としていたがきたい
- 定時を守り、超過した場合は残業代が払われるよう管理してほしい
- 保育時間・開所時間の拡大ではなく預ける側の企業に時間調整できるよう働きかける
- 会社からも有休取得・残業代について指導があり、実践出来ている。シフト制のため、先輩後輩のしがらみなく、自分の時間できっちり帰るよう伝えている。自分の若いころは事務や作りものは家に帰ってから行るのが主流であったが、園内で行えるように時間を作ったり残業代もやった分だけ出している
- 働き方改革と言われていますが、身近に感じることができません。保育時間が10時間を超える子どもたちが多く、保育時間の改革にも取り組んでほしい

○休みの確保等

- 完全週休2日制
- 保育園の年間の開園日を減らす(年末年始しか休みがない)
- 子育てや介護をしている者同士、お互い様と思って休みを有効に取る。
- 今までブラックな体質文化であった保育の仕事、職場環境を抜本的に改革し、限りなくクリーンな状態を目指し、一つの到達点に至りました
- フリー保育士を確保し休みを取りやすくする
- 保育士として働く層は子どもを持つ母親が多いため、自分の子どものための休暇が取りやすいように、保育士人数にゆとりが持てる環境を整える必要
- 土曜保育の見直し(一日休園もしくは、半日保育にする等)保育士の資質向上のため、休日の日曜日の研修ではなく、土曜日に研修ができる制度の見直しを切に望みます
- 求められることが多い割には、子どもを受け持つ人数も多く、年次休暇も取りづらい。年次休暇取得のために代替職員を確保できれば良いが、現実には難しい
- 休憩や有給など大人にゆとりを持たせ、尚且つ大人の目を増やすことでもっと子どもと楽しく関われば保育士という仕事の魅力が大きくなると思う

○業務量の削減・仕事の見直し

- 時間外の仕事が発生しないように仕事量を調整、削減
- 書類面を含む業務の簡素化、時間外や持ち帰りの仕事の見直し
- 事務負担軽減、休憩時間の確保、休みを取りやすくする、職場の雰囲気作り、いつでも相談できる体制、保育士とともに上司も保育を支えていく
- 行事を精選し、会議や書き物を減らす

○その他

- 潜在保育士の方が復帰しやすいような、柔軟なシフト調節、短時間勤務がもっと広まると良い
- ノンコンタクトタイムの実施に関する制度づくり(定義の明確化、保育者の人員配置の変更等)に向けて取り組んでほしい

労働環境
(就業時間・休みの取
り方)

382件

特徴的な意見・エピソード

保育士等の配置基準

378件

○十分な保育の提供

- ・ 保育士1人が受け持てる人数の緩和(特に保育士1名につき1歳児6人は子どもの育ちをより深くみることが難しい)
- ・ 0歳児3対1や1・2歳児6対1では、十分な養育・教育が子どもたちにいきわたらない
- ・ 人の基礎ができる乳幼児期に丁寧一人ひとりにかかわっていきけるよう保育士の配置基準の見直しをしてほしい
- ・ 子どもたち一人一人と向き合って保育をしていくには現状の配置基準では難しい
- ・ 子どもの命を守りつつ、発達を保障する責任の重い仕事なのに、今の配置基準では大人が足りない。怪我、命を守るので精一杯

○配慮が必要な子どもへの対応、仕事量の増加

- ・ 全年齢対象に保育士の配置基準を増やしてほしい。グレーゾーンの子どもたちが増えている中、書類が増え仕事量が増えたので、就労時間内に仕事が終わらない
- ・ 有資格者のフリー保育士も配置基準にしてほしい年々「気づかなる子」が増えており保育士一人当たりの子どもの数も多く負担増になっている、職員配置基準を見直してほしい
- ・ オーバーワーク状態のため、保育士の配置基準の見直しを希望する(発達障害の子どもが多く2名につき保育士1名の加算等)
- ・ 最低基準が策定された昭和23年以降の現在まで「子育て(保護者)支援」「アレルギー対応」「手帳を持たないグレーゾーン児の対応」等の現場での重要な業務が格段に増えたのに人員配置などが昔のまま
- ・ 配慮の必要な子どもが増えているので受け持ち人数を北欧並みに減らしてほしい(4歳児担当人数を20にするなど)
- ・ 昭和23年以来改善されていない4歳児30人対1人の保育士配置基準は国際的に見ても問題、長時間保育が拡大している中で、記録を書く、ケース検討を行うといった時間の保障を可能にする職員配置を
- ・ 保育士一人に対しての持ち人数を時代の変化と共に考えてほしい。保育料の無償化によって親は休み(平日)があっても子どもたちは週間休みなしの子どもも増えている

○その他

- ・ 自治体ごとではなく全国的に、1歳児の配置基準を4:1 2歳児の配置基準を5:1に出来るように取り組んでもらいたい
- ・ 資格のある園長は現状保育士不足の状態の現在は早朝や遅番の人数にカウントして欲しい
- ・ 保育士の配置人数が増えると保育の質も向上すると思うが給料があからないと、それも不可能だと思う3歳児からは幼稚園と同じようにクラス定員制にし人数制限を付けどのクラスも複数担任とする(年少15人、年中年長20人)

労働環境(その他)

356件

○相談支援

- ・ 現場で困ったことがあった際、保育アドバイザーが話を聞いてくれたり、巡回相談などがあると良い
- ・ 保育士経験者による悩み相談(保育所以外にも悩みを気軽に話せる場が欲しい、経験年数など自分と同じ経験や考えのある人と話せる場がほしい)

○その他

- ・ 保育所保育指針で義務づけられている記録、計画、保育準備、会議、保護者への対応などは保育に従事しながらは出来ません。幼稚園教諭と同様に1日8時間労働のうち2時間程度はその仕事に従事できるような保育士配置にしてください
- ・ 福祉職・サービス業感が強くニーズには応えなくてはならないような風潮がある。働きたい女性を守ることは賛成だが、働かなくては生活できない社会にしてそのしわ寄せを保育園に負わせないでほしい
- ・ 保育園を増やすばかりでは質が確保できているか不安(誰でも働ける場所なのはおかしい、資格を取った意味がない)

特徴的な意見・エピソード

社会的地位の向上・保護者等の啓蒙・HP等での発信

340件

- 保育の魅力発信
 - ・新しい保育の情報をどんどん発信して欲しい。事故や体罰など良くないところを報道されることで、世間の保育士への理解度が低く見られがち
 - ・保育士は子守ではなく専門職としての知識や技術を持ち、子どもの教育・保育に取り組んでいることを、もっとアピールして欲しい
 - ・四コマ漫画など読みやすい内容で保育士の仕事について伝える機会があると良い。ブログ、インスタなどを作って綺麗な保育士、イクメン保育士などを取り上げるのも良い
 - ・保育所等で行われている取り組みや、乳幼児期に適切な教育・保育を受ける大切さについての広報をお願いしたい
 - ・職業理解とイメージアップ
 - ・「子守りをしているだけ」と見られている世間の常識をもっと改善してもらいたい
- マイナスイメージの解消
 - ・保育園落ちた日本しねが話題にのぼった頃から、保育士のマイナスイメージがマスコミ情報として流れてしまっているの、昨今は低所得でもないということをメディアが取り上げて欲しい
 - ・保育士が虐待している(体罰)、職員間でのパワハラがあるなどのニュースがあるが、マイナスのイメージばかりついてしまうので、マイナスな情報と同じだけ良い所も放送して欲しい
 - ・保育士の社会的地位を貶めているのは、国の賃金査定のあまりの低さと配置基準のあまりの貧しさである
- 保護者等への保育に対する理解や協力
 - ・保護者によっては子育て教育を丸投げし「いつになったらトイレトレーニングをやってくれるのか」といったクレームもある
 - ・保育所でも教育がしっかりなされてきた歴史をきちんとうたってほしい。国民の中に幼稚園は教育をするけど保育所はしてないと勘違いしている意識が根強い
 - ・「土曜利用の時は必ず職場の証明書を提出させるとか、もしも休日なのに利用していることが判明したらペナルティを与えるとか、保護者が真剣に保育園に協力しようと思えるような政策をお願いしたい
 - ・子育て支援・育児不安軽減に注目しすぎではないか、保育施設に入所すれば保護者の責任や心配、負担が減るわけではない、保育士は父母の代替えではない
 - ・子どもを家で見れる保護者への協力のお願い(保育参観後は連れて帰る、土曜日のお休みなど)
 - ・入園前に保育園のことをもう少し理解してもらえるような仕組みがあると、保育士の心の負担が減る
 - ・11時間の保育時間(無償)を利用者がどう利用していくのか、利用者の選択であるということを、保護者やこれから親になる人たちにわかるように説明(指導・学習)してほしい

その他法整備、行政対応

299件

- ・助成金が出ても、分配されていないケースがあると聞きます(助成金の入金時期や運営者に任せられることが要因)
- ・人材派遣が儲かるというのは、保育園側が人を確保させるための出費をしているという事
- ・待機児解消も必要なことだが、現場の人手不足・処遇改善もまだ完全とは言えず、現場の職員体制が伴っていない中、子どもの長時間保育容認の無償化開始により、全国の現場が疲弊している現状が気がかり
- ・待機児童の問題もわかります、せめて4歳児、5歳児の特別配置加算など設けてほしいだけではないか
- ・保護者支援のあり方に疑問、「保育に欠ける子ども」の保育所入所措置基準や預かる保育時間の見直しを国や自治体にぜひお願いしたい
- ・保育士の不足が深刻であるため、保育士試験を年二回から三回に増やして、志のある者が容易に資格取得できるようにほしい
- ・保育士試験の人は書類業務が全く出来ません。保育士試験合格後、又は試験の中に書類作成の講座や実習、問題を盛り込んだりすると保育士試験でも肩身の狭い思いをせずに現場に入れる
- ・保育士不足に対して、子育て経験のある人の場合一定の実習時間を経れば資格取得できるなど資格取得のために必要な条件を柔軟に変更してほしい
- ・家庭的保育者が保育士を希望した場合、経験を考慮した簡易的な試験も実施してほしい
- ・職員の健康を第一に考え、インフルエンザ等予防接種を無料化してほしい

特徴的な意見・エピソード

<p>業務負担軽減・業務効率化</p> <p>227件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○書類業務の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ “働き方改革”というものの書類や仕事量は増え、勤務時間中に全業務を終えるのは不可能です。子どもと向き合うことが第一の仕事なのに、書類が多すぎます ・ 書類のボリュームが保育士業務を苦しめています。また、この書類はほとんど保育に活かされることはなく、ほぼほぼ監査対策のための書類となっています。厚生労働省には、簡易版の書類の雛形を作成していただきたい ・ ICT化を保育所毎に任せるのではなく、自治体を上げて推進してほしい ・ 無駄の多い書類、休めない勤務体制、持ち帰りの仕事、保護者からの要望、クレームの増加や“保育の質”を求める声など〔中略〕に求められるものが多すぎる
<p>施設運営・事業主体の規制・助成基準</p> <p>183件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○施設や設備の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の建物自体や設備に対しての補助を増やしてほしい ・ 補助金をもう少し増やし、職員給与のアップ、園の修繕費にあてる、園の周辺のバスの運行本数を増やしてほしい ・ 病児保育などの施設を増やしてほしい ○職業紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・ 処遇改善という名目で給付されたお金が人材紹介会社に回っている状況 ・ 紹介業者の規制を行うとともに、ローワークの強化を行うか、人材紹介料に見合った「保育士雇用助成」を設定していただきたい、公による派遣業者への指導もしくは規制をお願いしたい ○処遇改善・待遇改善 <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員に賃金として渡す補助金はしっかり働いている人の手に届くような制度にしてもらいたい ・ さらなる待遇改善のための、条件なしの補助金をいただきたい(研修の義務が多すぎると現場では活用できない仕組みになっている) ・ 保護者や家庭の支援や虐待防止まで多岐に渡る責任ある仕事内容であるにも関わらず、待遇や補助金の面で他校種(例えば小中高の教員など)〔比べ〕不十分なのは疑問に感じる ・ 非正規職員が正規に移行できるようなチャンスを作ってほしい ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 配慮を要する子どもがいきたときに補助ができる職員の申請に時間がかかると聞いたため、そういった補助ができる知識を持った者が巡回・指導に来てほしい ・ 保育園の開園時間を短くすること ・ 企業型を作られたことで認可で指針に縛られたくない保育士が流れている。企業型の設立を待機児童500人以上等条件をつけてほしい ・ 実際の補助金がどこどう支給されているかが明示し、見えるように経営者側を指導してほしい
<p>OJT・研修・仲間学び・記録の共有/見える化</p> <p>66件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国と自治体においてキャリアアップ資格をeラーニング受講でもOKにして欲しい。そうすれば園内研修もしやすいし職員みんなで共有もしやすい。何より人手不足なので園外研修に行く職員の負担が減る ・ 保育士等キャリアアップ研修以後も、ねらいや内容が検討された研修を受けられるようにしてほしい、また、さらに各項目ごとのステップアップ研修を受けられるようにしてほしい ・ 専門知識と共に保育士自身の人間性も大きく影響するので、児童心理学や乳児心理学等の研修も必要 ・ コーチングやアンガーマネジメント資格取得に準じる内容の研修(年複数回)の実施
<p>自治体監査・園評価のあり方</p> <p>36件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○書類主義や監査の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所指針改定後に書類が大幅に増え、業務量が極端に増加しました。これにより保育士の業務も大幅に増えて精神的肉体的に過度な労働となっています。書類の削減に是非とも取り組んでいただきたいと思います ・ 午睡チェックを筆頭にした、書類至上主義を廃止してほしい ・ 監査をする方は、保育業務に従事経験のある方を中心にしていきたい。さらに、都道府県単位では基準を統一したらどうかとも考えます。隣の区でも基準が大きく異なるので、異動などある園では負担が大きい ○評価 <ul style="list-style-type: none"> ・ 認可外保育園の研修制度の充実、第三者評価の導入推奨